

議題1 改訂の進め方、鴻巣市水道事業の現状

1 策定の目的

「鴻巣市水道事業基本計画」を策定（平成19年3月）

- 安心・安全な水の安定的な供給
- 利用者に満足していただけるサービスの提供を目指し事業を推進

水道事業を取り巻く状況の変化

- 人口減少社会の到来
- 東日本大震災をはじめとする激甚災害

厚生労働省が「新水道ビジョン（平成25年3月）」を策定

- 50年後、100年後を見据えた水道の理想像【安全、強靱、持続】

「鴻巣市水道事業ビジョン」（平成30年3月）策定

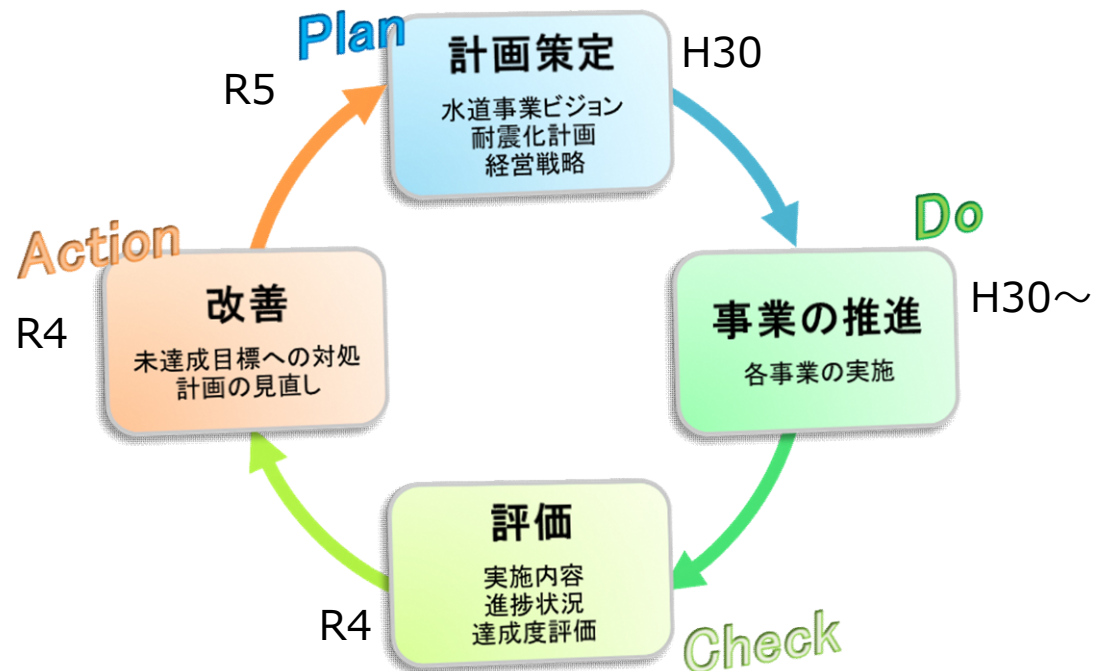
見直し・改訂の必要性

計画期間：平成30年度～令和9年度

「鴻巣市水道事業ビジョン」（令和5年3月）改訂

2 見直し方法

- 関係法令、上位計画、関連計画の改訂
- 各種施策の取組状況（進捗状況、新たな課題の有無）
- 実績動向（策定以降、令和2年度までの実績を確認）



3 水道事業の現状

関係法令・関連計画等

●「水道法改正」（令和元年10月1月施行）

1.関係者（国・県・市町村）の責務の明確化

2.広域連携の推進

3.適切な資産管理の推進

4.官民連携の推進

5.指定給水装置工事事業者制度の改善



3 水道事業の現状

関係法令・関連計画等

●SDGs（持続可能な開発目標）の取組み

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

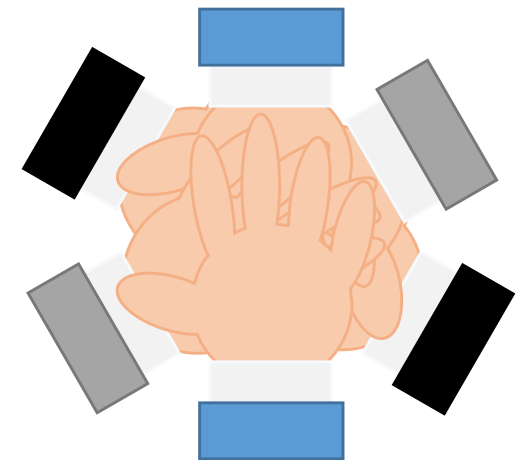


3 水道事業の現状

関係法令・関連計画等

「埼玉県水道整備基本構想（埼玉県水道ビジョン）」の改訂

- 「埼玉県水道ビジョン」の見直し
⇒「広域化推進プラン」に位置付ける
- 目的が「広域化（事業統合）」ではなく「基盤強化」である
- 事業統合に向けた検討に限らず、多様な広域連携を推進



3 水道事業の現状

関係法令・関連計画等

「鴻巣市水道施設整備検討業務」（令和3年度）

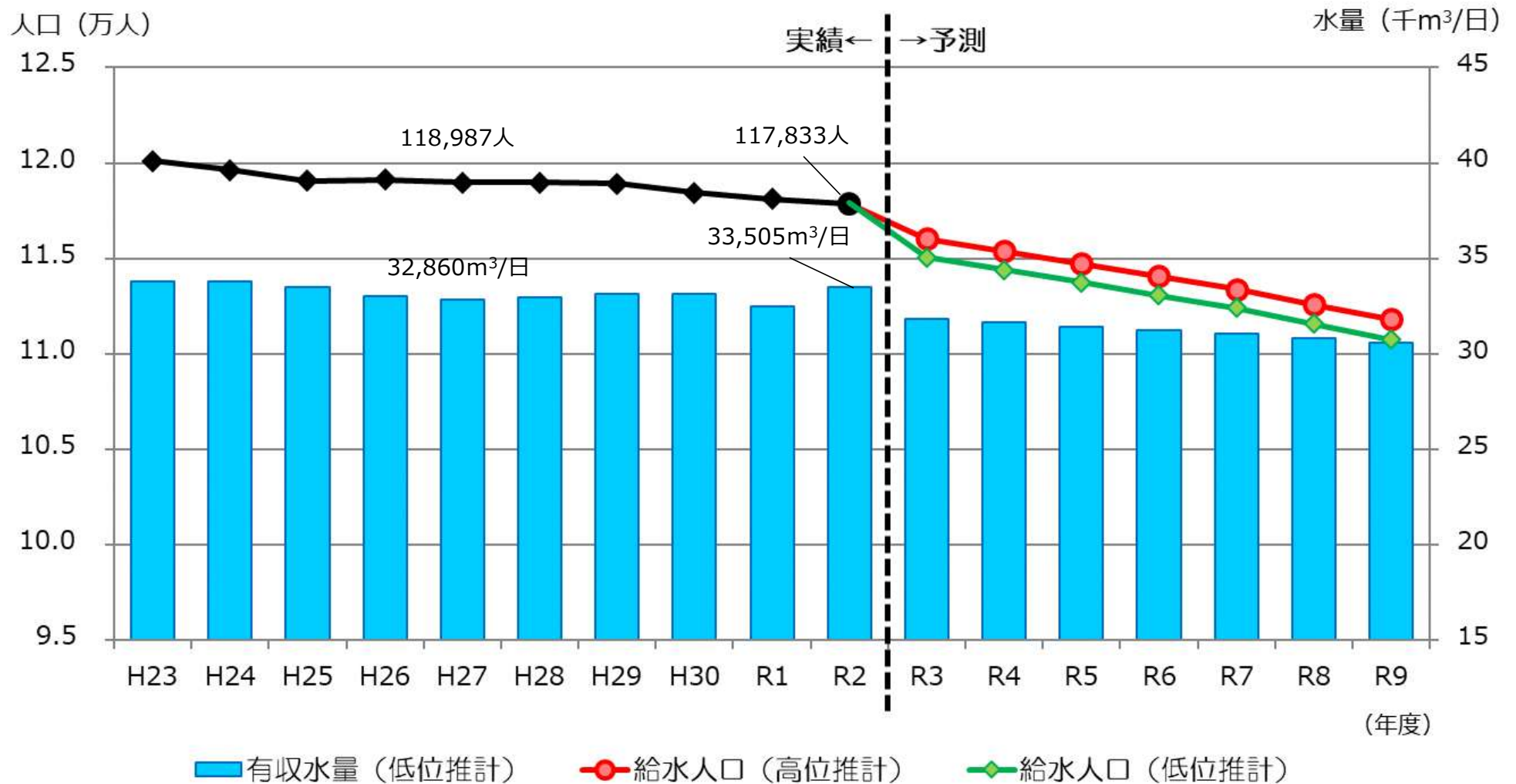
- 将来的な水道施設の適正規模の検証（管網計算）
水道施設：取水施設、浄水施設、配水池
基幹管路及び連絡管
- 上尾道路建設に基づく配水区の分断に対応した再編



人形浄水場 着水井・混和池

3 水道事業の現状

給水人口、給水量の推移 (まとめ)



3 水道事業の現状

新型コロナウイルス感染症に関する本市の対応

- 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う経済支援

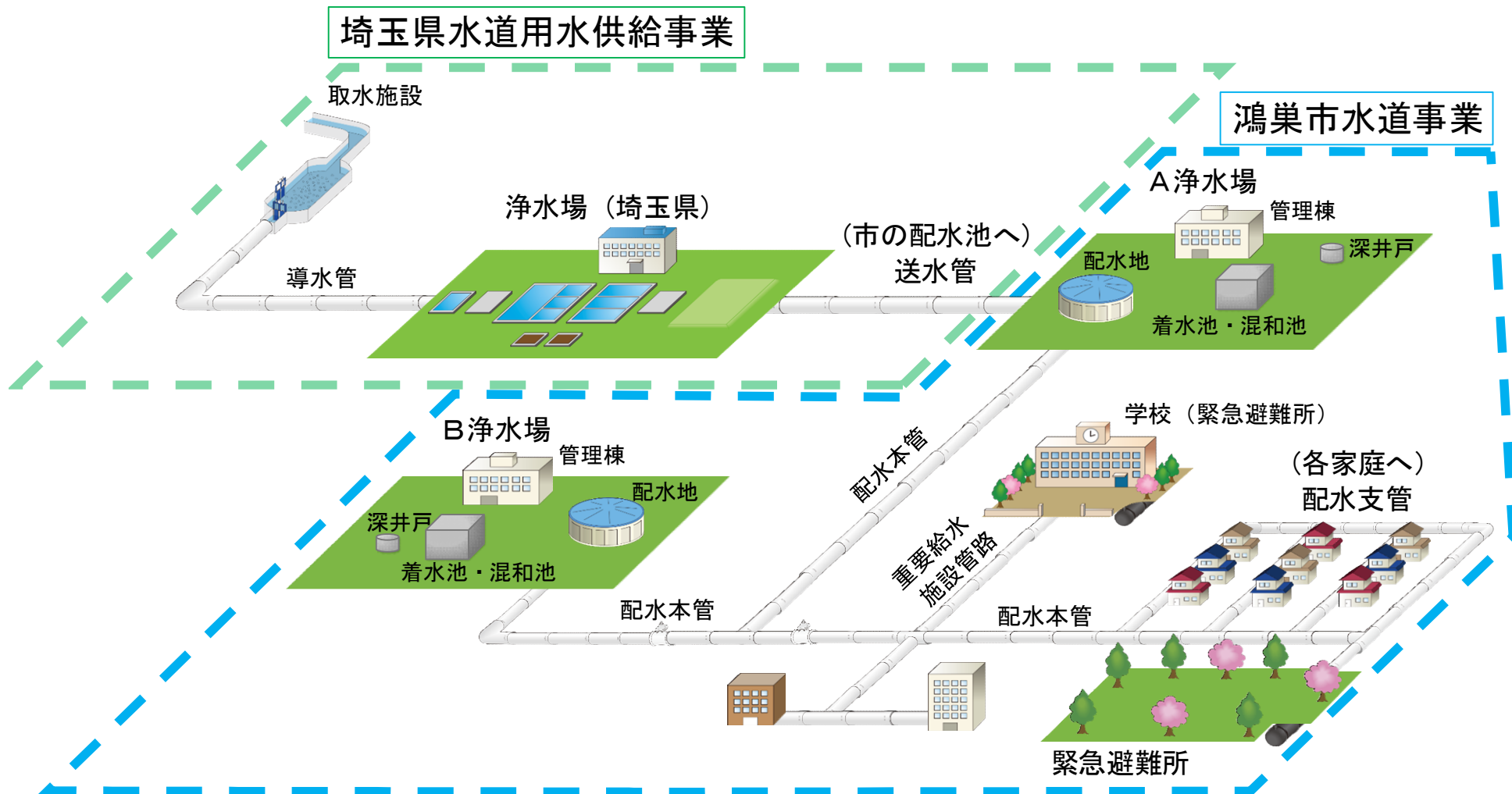
⇒令和2年度 基本料金免除 4ヶ月分

令和3年度 基本料金免除 2ヶ月分



3 水道事業の現状

水道施設の概要



A 浄水場…自己水と県水を併用し送水

B 浄水場…自己水を送水 その他浄水場…県水を送水

3 水道事業の現状

浄水場

配水系統	浄水場	建設年度	施設能力 (m ³ /日)	水源	浄水処理方法	配水池	
						数	総容量(m ³)
鴻巣	人形	1962 (S37)	3,600	深井戸4本 (鴻巣2, 3, 5, 6号井)	塩素消毒 除鉄・除マンガンろ過	4池	2,900
	箕田	1974 (S49)	16,000	深井戸8本 (鴻巣7~14号井)	塩素消毒 除鉄・除マンガンろ過	3池	8,056
				県水	塩素消毒(追加塩素)		
馬室	1981 (S56)	22,400	県水	塩素消毒(追加塩素)	2池	15,500	
吹上	吹上第一	1967 (S42)	2,690	深井戸3本 (吹上1, 2, 3号井)	塩素消毒	2池	1,500
	吹上第二	1976 (S51)	14,210	深井戸3本 (吹上4, 5, 6号井)	塩素消毒	3池	9,200
県水				塩素消毒(追加塩素)			
川里	川里	1977 (S52)	4,100	深井戸2本 (川里1, 2号井)	塩素消毒 除鉄・除マンガンろ過	6池	2,156
				県水	塩素消毒(追加塩素)		
	屈巢 (休止中)	1962 (S37)	300	深井戸1本 (川里3号井)	塩素消毒 除鉄・除マンガンろ過	1池	252
合計			63,300	—	—	合計	39,564

3 水道事業の現状

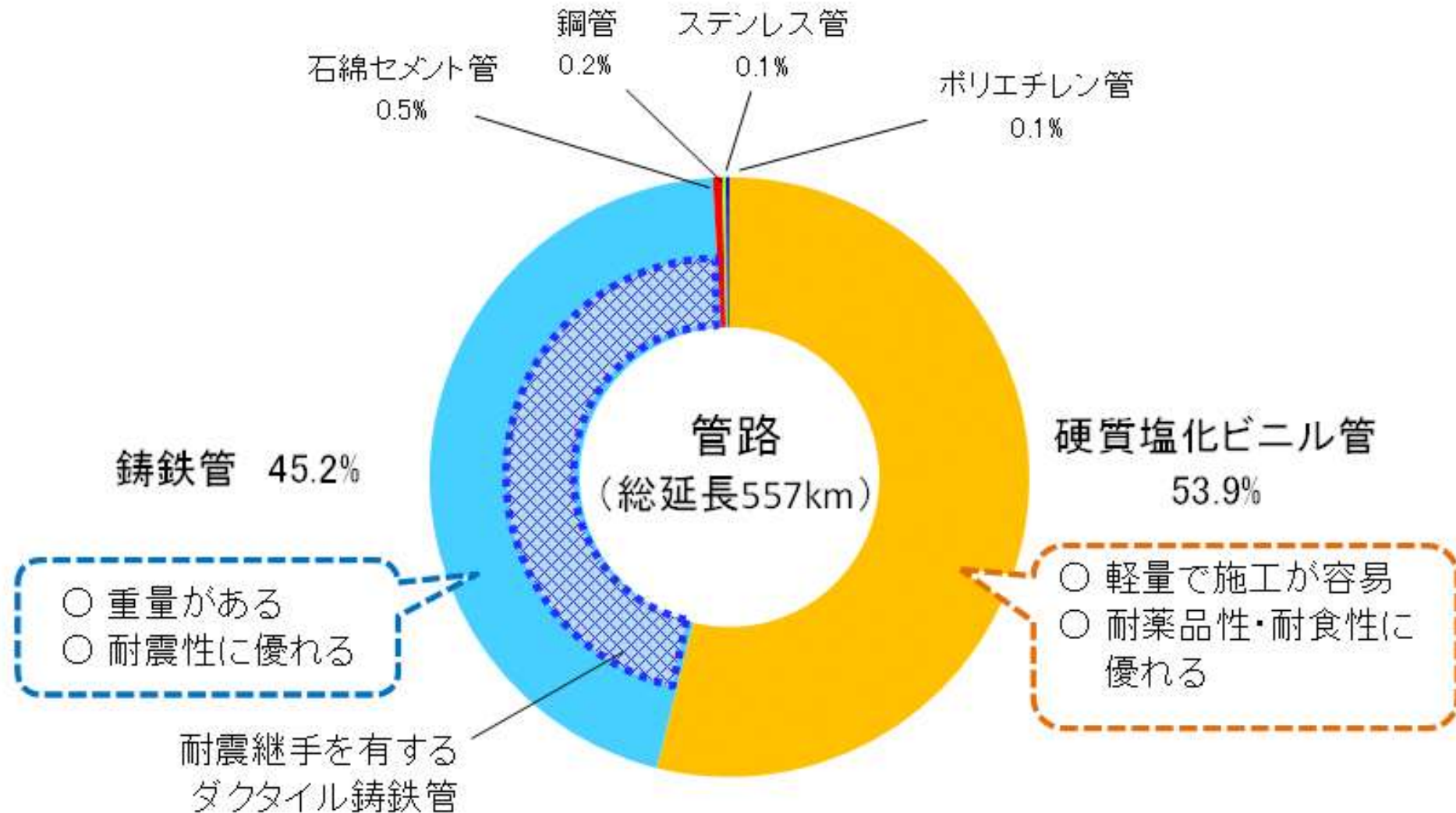
水質実績（監視装置の位置）

- ・末端給水栓水として問題ない
⇒毎年水質検査を行い、水質基準値は満足している



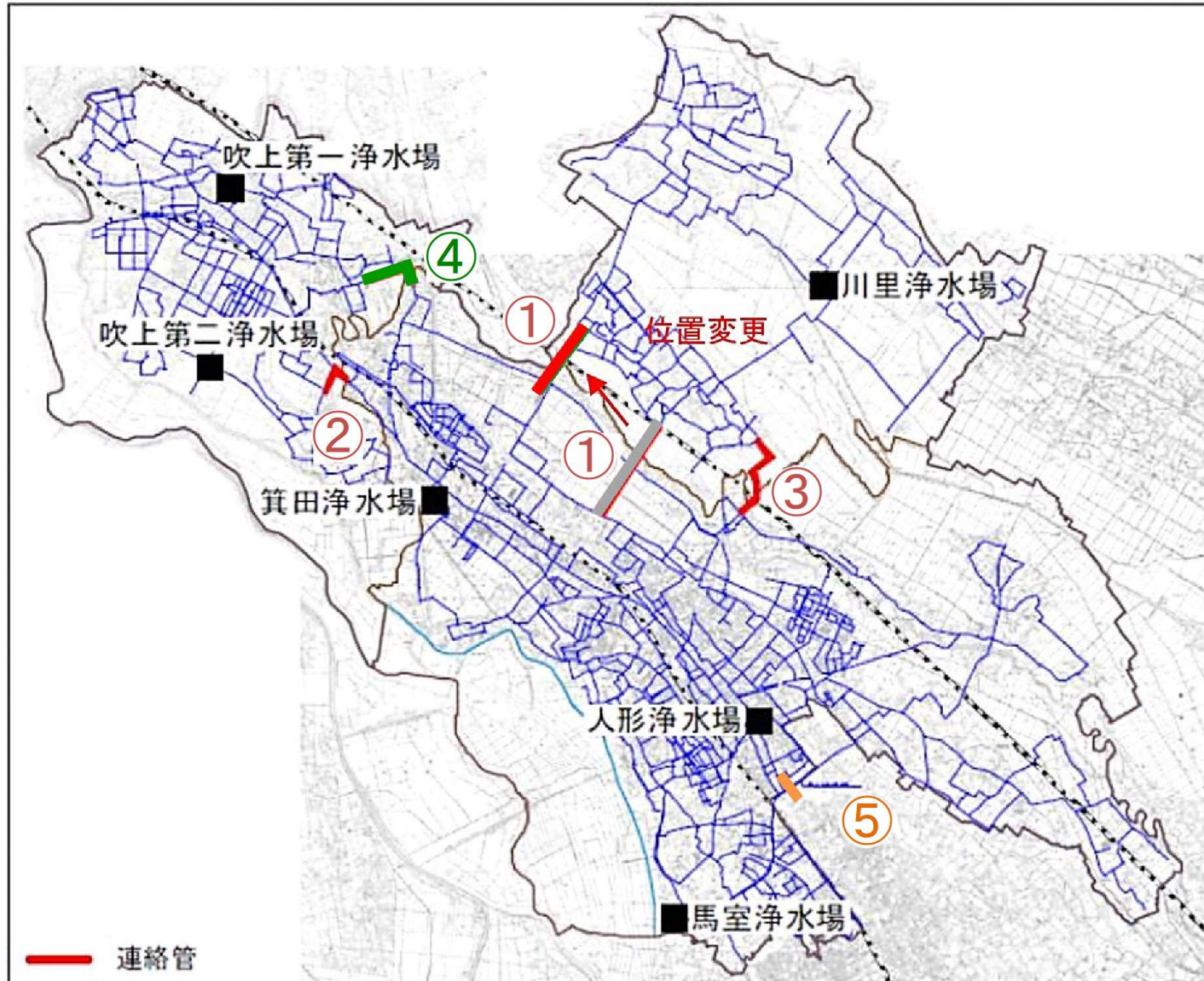
3 水道事業の現状

管路



3 水道事業の現状

連絡管



- ① 鴻巣-川里間
 - ② 鴻巣-吹上間
 - ③ 鴻巣-川里間
 - ④ 鴻巣-吹上間
 - ⑤ 鴻巣-桶川北本
- 水道企業団

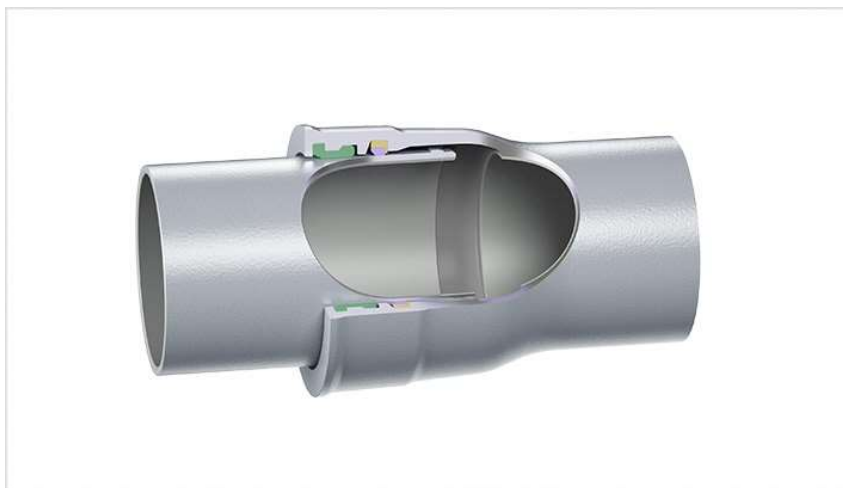
3 水道事業の現状

水道事業の資産

【構造物】



吹上第二浄水場 管理棟、配水池
【管路】



(出典) 株式会社クボタ

【機械電気設備】



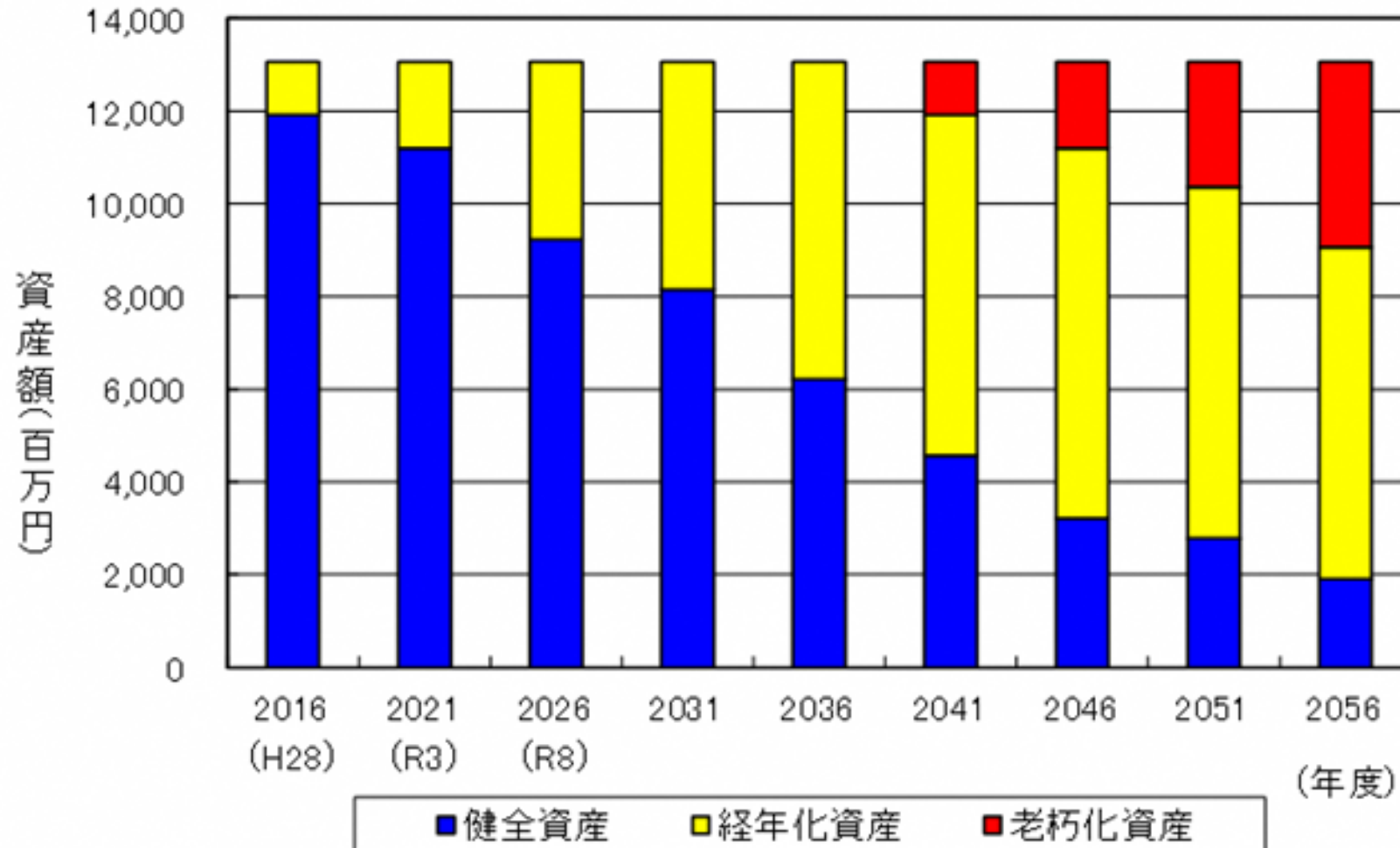
川里浄水場 配水ポンプ
【管路】



(出典) 塩化ビニル管・継手協会 16

3 水道事業の現状

施設の健全度（構造物）



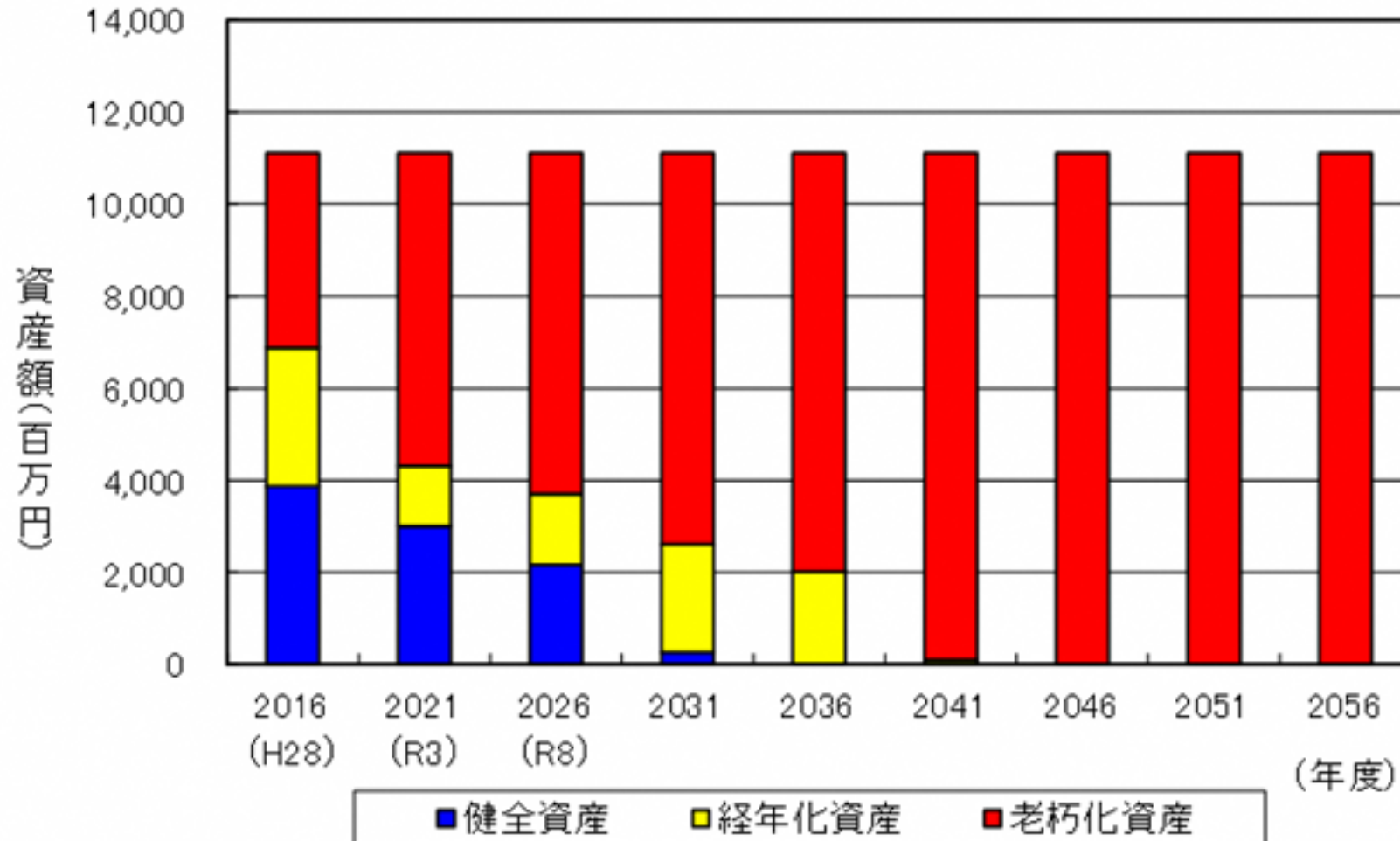
健全資産：経過年数が法定耐用年数（50～60年）以内の資産額

経年化資産：経過年数が法定耐用年数の1.0～1.5倍の資産額

老朽化資産：経過年数が法定耐用年数の1.5倍を超えた資産額

3 水道事業の現状

施設の健全度（機械電気設備）



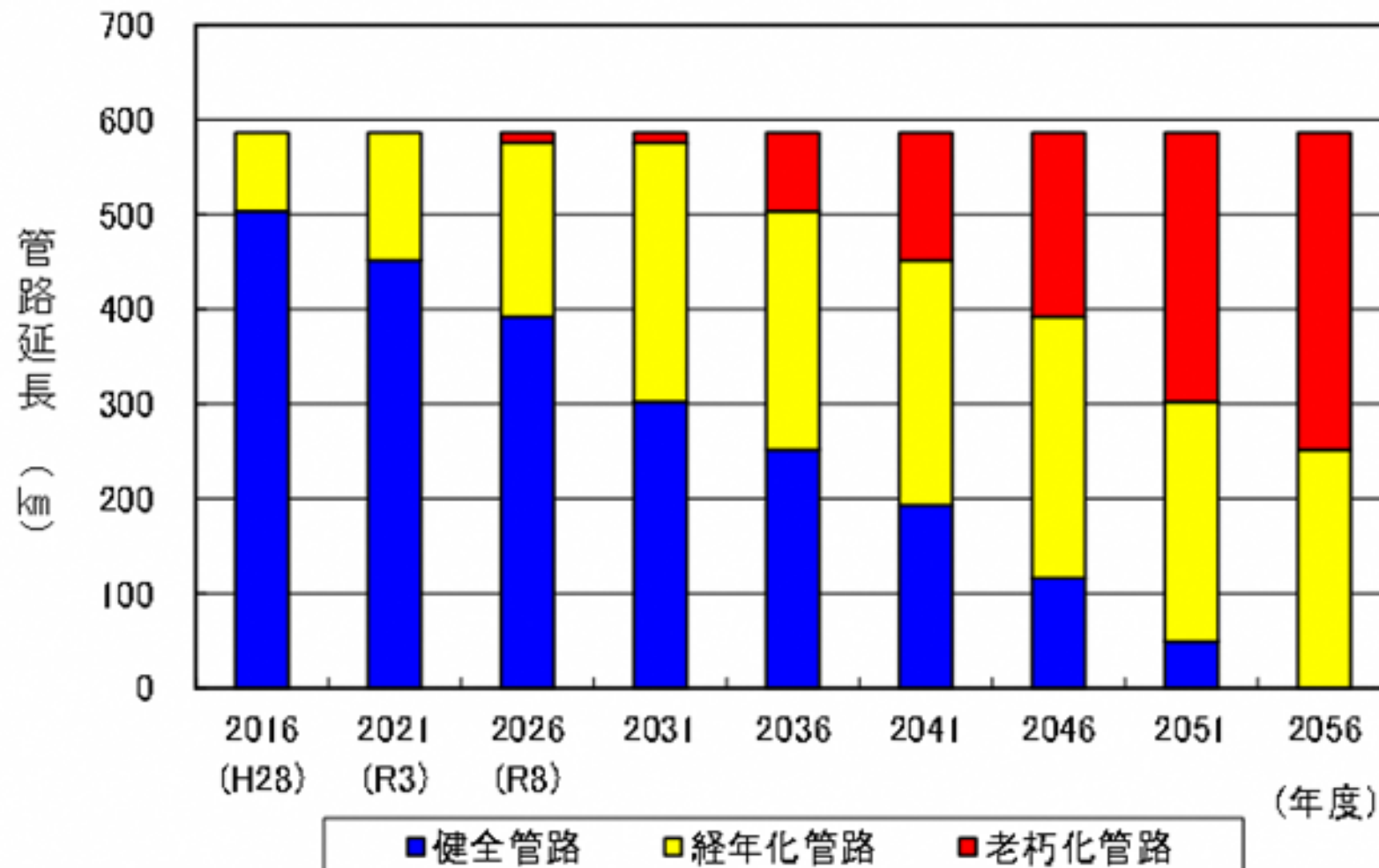
健全資産：経過年数が法定耐用年数(15～20年)以内の資産額

経年化資産：経過年数が法定耐用年数の1.0～1.5倍の資産額

老朽化資産：経過年数が法定耐用年数の1.5倍を超えた資産額

3 水道事業の現状

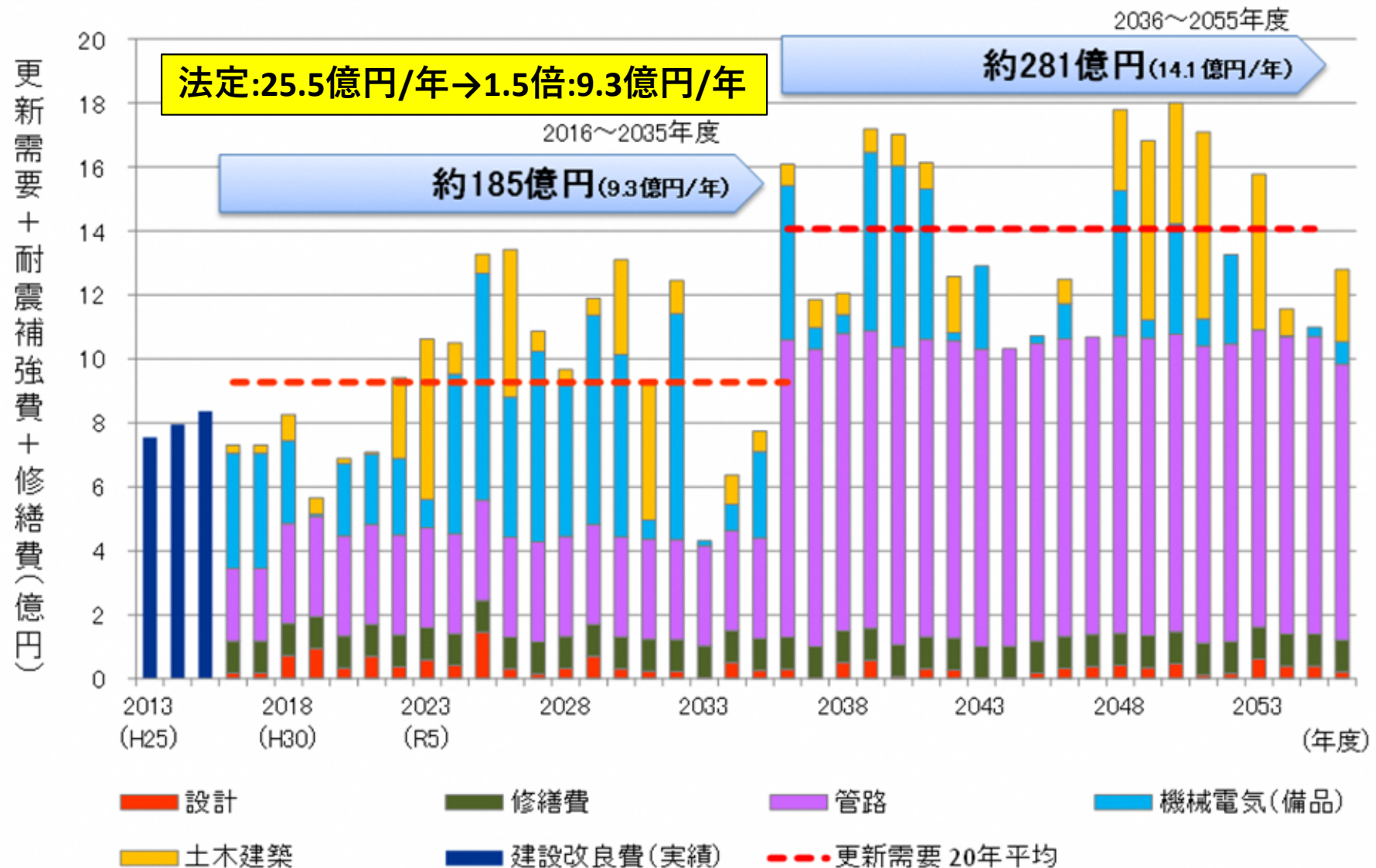
施設の健全度（管路）



- 健全管路：経過年数が法定耐用年数以内(40年)の管路延長
- 経年化管路：経過年数が法定耐用年数の1.0～1.5倍の管路延長
- 老朽化管路：経過年数が法定耐用年数の1.5倍を超えた管路延長

3 水道事業の現状

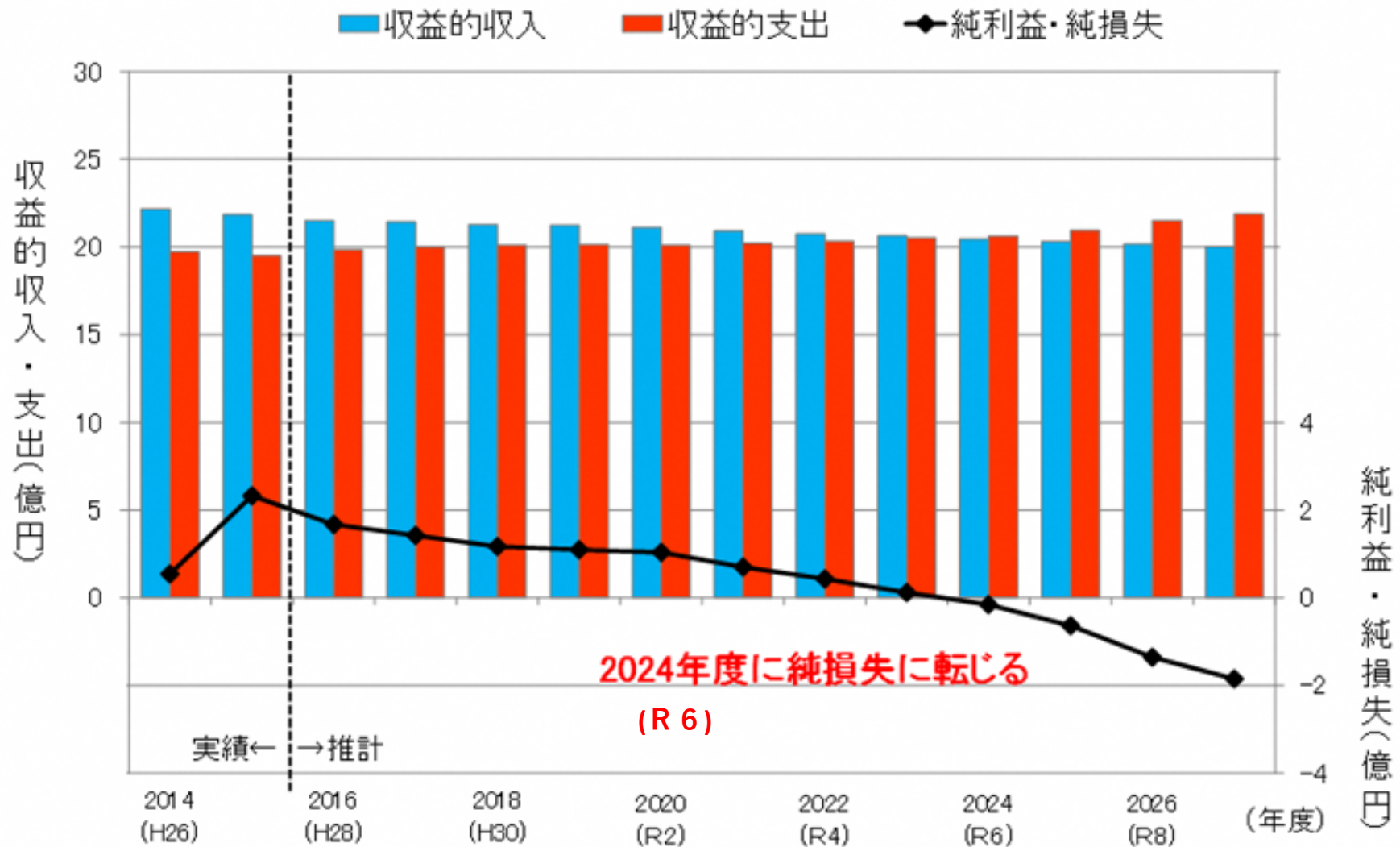
建設改良費の見通し（更新需要の見通し）



※資産を法定耐用年数の1.5倍で更新し、H30.3策定時の事業計画で算定した場合

3 水道事業の現状

財政収支の見通し（収益的収支）



※H30.3策定時

3 水道事業の現状

財政収支の見通し（資本的収支）

